2024年11月9日 朝刊

岩手日報　2024年（令和6年）11月9日（土曜日）

磨いた技術に栄誉

「現代の名工」に本県２人

本年度の「現代の名工」に本県から北上市和賀町岩崎新田のアサヒテクノ代表取締役高橋茂吉さん(70)＝建設・土木作業員、同市花園町のキャプテンバーバー店主鈴木久明さん(70)＝理容師＝が選ばれた。卓越した技能者をたたえる厚生労働省の制度で、全国138人が受賞。表彰式は11日に都内で行われる。

高橋茂吉さん（北上）

地下工事 改良に情熱

「夜にひらめき、朝まで覚えていたものを形にしてきた」と技術開発を振り返る高橋茂吉さん

技術者として、真空技術を用いて地下水位を下げ、軟弱地盤改良にもつながるスーパーウェルポイント（SWP）工法を開発、実用化した高橋さん。国内外の現場で導入され「周辺環境に負荷をかけることなく、コスト削減にもつながっている」と胸を張る。

黒沢尻工高卒業後、都内の地下工事専門の建設会社で現場経験を積んだ。盛岡営業所長の時、会社の倒産に直面。「自分の意思でやっていく」とかねて温めていた地中に埋設した井戸の中を真空に保つSWP工法を盛岡市の屋内プール工事で成功させ、1998年にアサヒテクノを立ち上げた。

施工実績は国土交通省や地方自治体など2023年度までに422件を数えた。現在は地元に本社を置き、技術普及・移転に向けて国内外を駆け回る日々だ。「名工からイメージできる技能ではないが、イメージを形にしてきた技術が認められた」と受け止める。

鈴木久明さん（北上）

ミリ単位 角刈り達人

「プロースカットは一丁目一番地。理容師の良さをアピールしたい」と意気込む鈴木久明さん

「髪の特徴を見極め、お客さんの目線でカットしていく」。プロースカット（角刈り）の達人として知られる鈴木さん。理容椅子を寝かせ、バランスを把握して素早く仕上げる技法を考案した。東京都と東北の競技大会優勝歴もあり、ミリ単位の技を求めて、市内外の客が足を運ぶ。

八戸市出身。東京の専門学校で測量を学び、現場経験を積んだが、理容師の妻節子さん(71)と出会い「老後になっても働ける」と29歳で転身。都内の理容店で働きながら資格を取得した。スタートが遅い分「隣にうまい店が来たら廃れる」と夜遅くまで技を磨いた。

1993年に妻の実家の北上市に居を定め、キャプテンバーバーを開業した。県理容生活衛生同業組合の副理事長も務め、東日本大震災の際は、理容ボランティアや組合員のなりわい再生に尽力。志望者が減っている現状に「魅力を伝えたい」と今後を見据える。